

氏名	岩瀬敏秀
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4380 号
学位授与の日付	平成 23 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Do bonding and bridging social capital have differential effects on self-rated health? A community based study in Japan (結合型ソーシャル・キャピタルと橋渡し型ソーシャル・キャピタルが主観的健康に与える影響は異なっているか? 日本の地域における研究より)
論文審査委員	教授 荻野景規 教授 太田吉夫 准教授 溝淵知司

### 学位論文内容の要旨

ソーシャル・キャピタル(以下 SC)は社会参加などの個人の持つリソースとも、信頼などの集団の持つ特性とも定義され、健康に良い影響を与えている。SCは社会的特性が似通った集団内でアクセスできる結合型 SC と社会的特性の境界を超えてアクセスできる橋渡し型 SC の 2 つに区別できる。これらを区別して健康との関連を調査した研究は少ないため、岡山市のデータを用いて評価した。岡山市の 20 歳以上 80 歳以下の住民 4000 人に調査票を郵送し、2260 の回答を得た。6 種類の社会参加について聴取し、参加者の性、年齢、職種が似通っているかどうかで結合型 SC か橋渡し型 SC かを区別した。共変量調整後、参加組織数 0 の群を対照とし、3 つ以上橋渡し型 SC を持つ群の主観的不健康に対するオッズ比は 0.25 (95%信頼区間:0.11-0.55)であった。一方、結合型 SC でははっきりした関連は認められなかった。結合型 SC と橋渡し型 SC は健康に異なった影響を与えており、これらの区別が重要であることが示された。

### 論文審査結果の要旨

ソーシャル・キャピタル(SC)、いわゆる、個人の社会参加がどのように健康に影響を与えているかを検討するため、岡山市内の 20 歳以上 80 歳以下の住民 4000 人に調査票を郵送し、2260 人の回答を得た。調査内容は、6 種類の参加組織、カテゴリ化した参加組織数、組織の特性(参加者の社会的特性が似ている結合型 SC、参加者の社会的特性が異なる橋渡し型 SC)等の主観的不健康度に対するオッズ(OR)と 95%信頼区間を共変量(年齢、同居の有無、教育歴、喫煙歴、肥満傾向)で調整することにより求めた。その結果、地縁的な活動組織で、参加組織数 0 の群に対して、3 つ以上橋渡し型 SC を持つ群の主観的不健康に対するオッズ比は、0.25(95%信頼区間:0.11-0.55)であるが、結合型 SC でははっきりした関連は認められなかった。結論として、SC と健康の関係は、参加者の社会的特性が異なる橋渡し型で、さらに多くの組織に参加する人ほど健康的である可能性が示唆された。以上より、本研究は、個人の社会参加と健康の関係を求めた公衆衛生学に価値ある研究と認められた。よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。